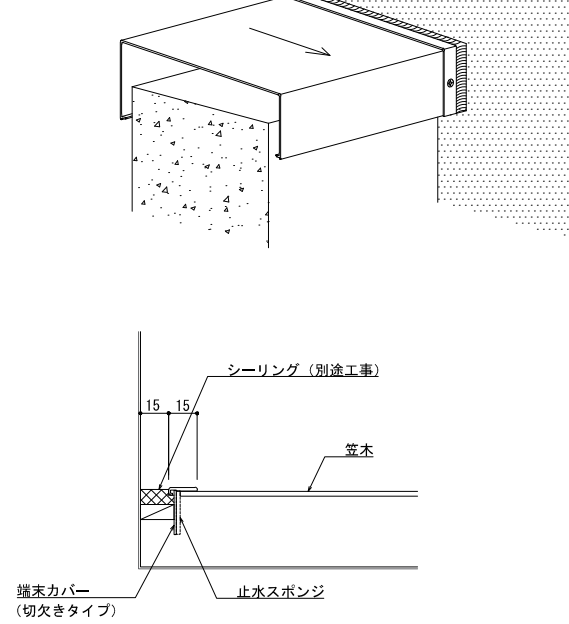
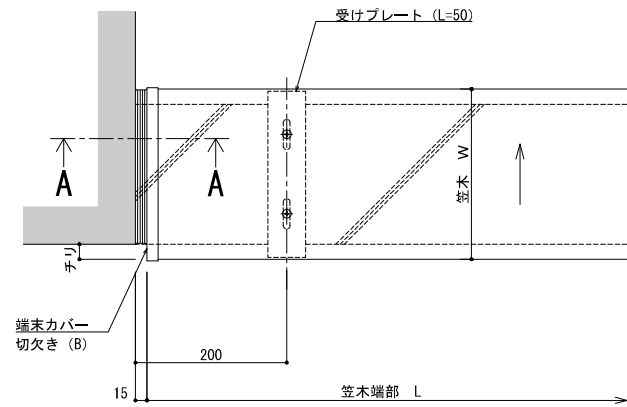


笠木 端部納まり 参考図

端部切欠きカバー納まり

※) 壁面と笠木端部との隙間シーリング幅は、15~20mmとする。

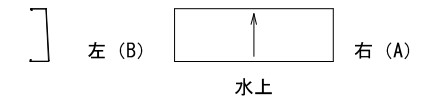


A - A (1:2)

端部カバータイプ

※) 水勾配の水上から見て、

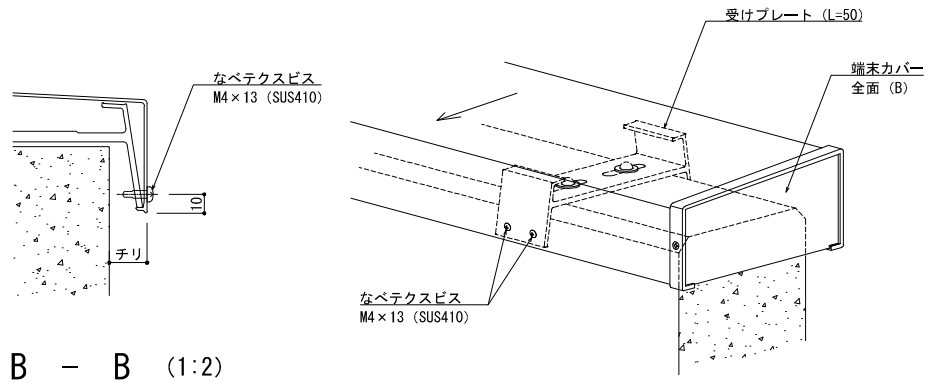
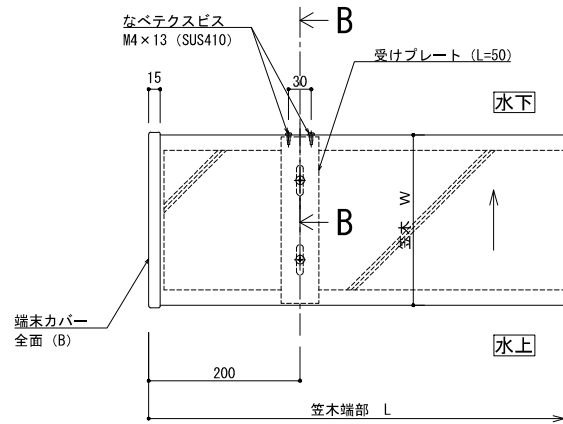
右側 = (A) ・ 左側 = (B)



サイズ	形材笠木	ワイド笠木
タイプ	SL-140、160、175、200、225、 250、275、300、325、350、400	SL-400M ~ 600M (13mm勾配) SL-K400M ~ K600M (13mm勾配)
全面	 本図は (B) を示す	 本図は (B) を示す (工場組付け出荷)
切欠き	 本図は (B) を示す	 本図は (B) を示す (工場組付け出荷)

端部全面カバー納まり

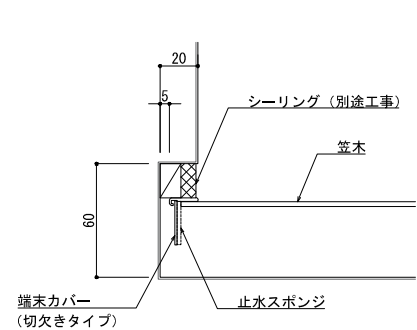
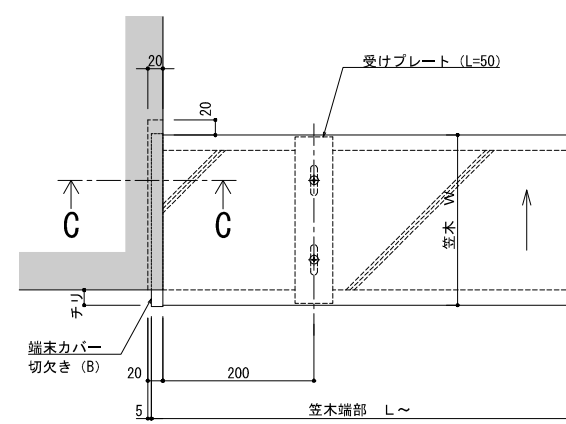
※) 壁や柱など、笠木端部を拘束するものが無い場合には、笠木本体の横すべりからの落下を防ぐため、笠木本体の水下側見付けと受けプレートをビス固定 (2点) する。



B - B (1:2)

端部ノミコミ納まり

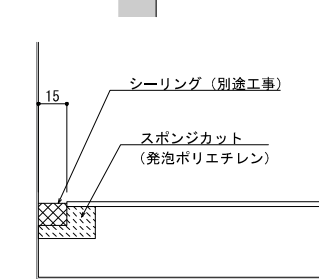
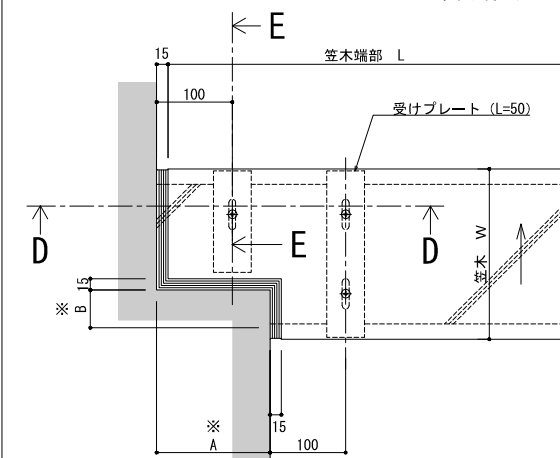
※) 端部ノミコミ納まりとする笠木本体は、他部の笠木本体より先行して嵌合取付けする。



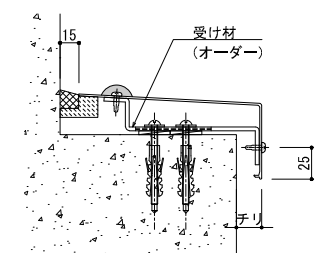
C - C (1:2)

現場合せ切欠き納まり

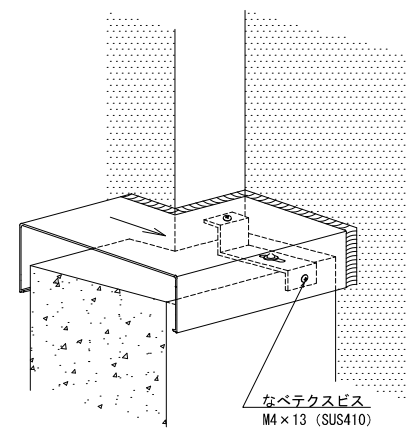
※) 笠木端部より100mm以内に受けを設ける。
※) 切欠き長さ (※A) が50mmを超える場合は、ビス固定用の受け材 (オーダー) を追加する。



D - D (1:2)



E - E (1:3)



なべテクスビス M4×13 (SUS410)

改訂年月日	概要